

整理番号	傷害事故又は賠償事故	仕事種別	どんな事故		なにを、どうしていた時	どんなところで(場所、現場の環境)	事故要因と、どこに問題があったか	この体験で、反省・改善・気を付けるようになったこと、その他、感じたこと	この事故は何回目
			事故の型	傷害の部位、又は損害の程度 (参考:傷害程度事故報告時点)					
15		施設管理	交通事故	商店街の交差点で出会い頭の衝突事故、左太もも、左膝の打撲 (通院1日)	自転車で就業途上、交差点で自転車通学途中の学生と出会い頭に衝突、転倒した。	商店街交差点	自転車で就業途上、自転車移動中の双方が十分な確認なく交差点に進入したことによる。	交差点等では、安全確認を十分行いたい。安全就業も大切であるが、就業途上も交通安全に気を付けたい。	1
16	就業途上	その他	交通事故	車で運転を誤ってコンクリートの塀にぶつかった。肋骨と胸部骨折。 (入院11日、通院26日)	仕事(残業1時間)して激しい雨の中、車を運転して帰宅途中、曲り角のコンクリート塀にぶつかった。	細道の見通しの悪い曲り角のコンクリートの塀にぶつかった。	激しい雨が降っていて、前がよく見えなかった。いつも良く通っている道だと油断していた。	雨の時とか夜等は運転を控えるようになった。疲れている時とか急いでいる時こそ、冷静に運転する。いつもよく通っている道は大丈夫だと油断しないで、安全運転に心がけなければいけないと思いました。	1
17	賠償事故	草刈機除草	飛散損壊	草刈機を使っての作業で、小石を飛ばせた。個人宅の勝手口ドアガラスを割った。	草刈機を使って個人宅の庭の草刈を行っていた。	個人宅の勝手口の近くで草刈機を使用していた。	(勝手口から)少し離れているし、(エンジンの)回転数を落としていたので、大丈夫だろうと思った。つい油断して、防護ネットを置いていなかった。	安全第一で面倒くさいと思っても、必ず対策をしておく。事前に見て回り、状況を把握して2人1組で作業する。少しの油断で人に迷惑を掛けてしまった。	1

整理番号	傷害事故又は賠償事故	仕事種別	どんな事故		なにを、どうしていた時	どんなところで(場所、現場の環境)	事故要因と、どこに問題があったか	この体験で、反省・改善・気を付けるようになったこと、その他、感じたこと	この事故は何回目
			事故の型	傷害の部位、又は損害の程度 (参考:傷害程度 事故報告時点)					
18	賠償事故	草刈機除草	飛散損壊	マンション駐車場の草刈作業で、車両のガラス破損	草刈機を使ってマンションの駐車場の草刈を行っていた。作業後に連絡があり、車両のガラスを損傷していることがわかった。	(駐車場には)ほとんど車両は無く、該当車両には(飛散対策として)ブルーシートを掛けていた。	(草刈箇所から)少し離れているし、シートを掛けていたので、大丈夫だろうと思った。つい油断して防護ネットを置いていなかった。	安全第一で面倒くさいと思っても、必ず対策をしておく。事前に見て回り、状況を把握して2人1組で作業する。ブルーシートを掛けただけでは、十分ではない。作業後に確認しなかったため、事故に気が付かなかった。	1
19				駐車場の自動車のガラスを破損させた。主に助手席窓ガラスと周辺パネルを破損	草刈機で駐車場周辺の植込みの草を刈っていた。車まで7~8mあり、注意しながら作業していた。この日に予定された作業が終わり、明日の予定だった場所の作業を行った。	住宅ビルの駐車場の植込みを、草刈作業中で見通しは良いところだった。	日頃慣れている作業であり、大丈夫だろうと思った。作業後に連絡があり、事故に気付いた。飛散防止や就業後の確認が出来ていなかった。	当日予定されていない場所を、勝手に作業しない。安全確認は、意識が薄れた時に大きな事故を引き起こす。損害が大きく、周りの人に迷惑を掛けてしまった。草刈機の飛散事故がいかに大きいか痛感した。	1

整理番号	傷害事故 又は賠償事故	仕事種別	どんな事故		なにを、どうしていた時	どんなところで(場所、現場の環境)	事故要因と、どこに問題があったか	この体験で、反省・改善・気を付けるようになったこと、その他、感じたこと	この事故は何回目
			事故の型	傷害の部位、又は損害の程度 (参考: 傷害程度 事故報告時点)					
20		草刈機除草	飛散損壊	草刈機を使つての作業中、小石が飛び、走行中の自動車のドアにあたりガラスが割れた。	草刈機を使つての作業中	道路に面した傾斜地	周りに対する注意不足	道路に面した作業では、今以上の注意を払う。どんな作業でも、たえず不測の事態を考えて作業を行う。	1
21	賠償事故			草刈作業中、小石飛散により近くに駐車していた軽乗用車の運転席横の窓ガラスを割る事故を起こした。	草刈機で草刈中、草の中に隠れていた小石を、チップソー(刃)で飛ばして、駐車中の自動車の窓ガラスにあてたためガラス窓が破損した。	住宅地の中の更地で、草刈作業地点より南へ6mぐらいの所に軽自動車が止めてあった。	小石飛散防止のダンボールを置いていたが、草刈地点より離れすぎていたため、小石の飛びを止めることができなかった。ダンボールの上に飛んだと思われる。	作業前に障害物を取り除く。駐車車両は移動してもらう。	3

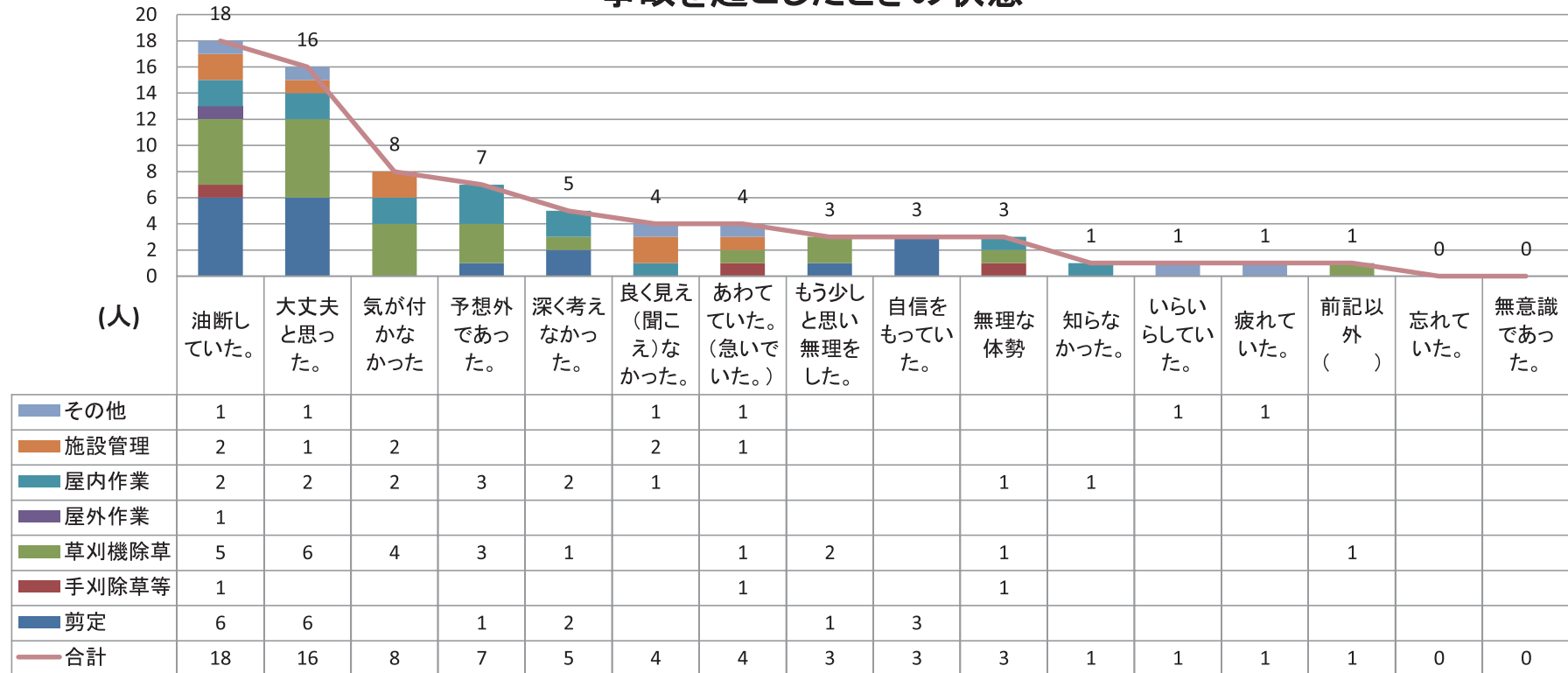
整理番号	傷害事故又は賠償事故	仕事種別	どんな事故		なにを、どうしていた時	どんなところで(場所、現場の環境)	事故要因と、どこに問題があったか	この体験で、反省・改善・気を付けるようになったこと、その他、感じたこと	この事故は何回目
			事故の型	傷害の部位、又は損害の程度 (参考:傷害程度事故報告時点)					
22	賠償事故	草刈機除草	飛散損	草刈作業中に石が飛び、別の会員が乗ってきた自動車の後部ガラスにあたり、ヒビが入った。気づかずに車を動かしたところ、ガラスが完全に割れて全て落ちた。	草刈作業中	川の土手の上に自動車を停めて、土手の斜面の草を刈っていた。	草刈作業場所のすぐ近くに自動車を停めていたため。	作業者場所から離して車を停めるようにする。	1
23				小石が飛散して窓ガラスを破損した。	庭で刈払機をしようしていた時	個人宅の敷地内	飛散防止対策が不十分だった。	建物に近い所での作業は、板などでカバーして小石の飛散を防止する。	1
24				軽乗用車のリア・ウィンドウを破損	草刈機による除草	公園内道路柵の外、反対側宅地駐車場に停めてあった車を破損	15m内外の周辺状況の確認不足。会員相互の声掛け等不足。防護用具の不使用。	作業前に、チーム内で周辺状況の確認、注意喚起。道路脇作業の時は通行車両に細心の注意を払う。	2

整理番号	傷害事故又は賠償事故	仕事種別	どんな事故		なにを、どうしていた時	どんなところで(場所、現場の環境)	事故要因と、どこに問題があったか	この体験で、反省・改善・気を付けるようになったこと、その他、感じたこと	この事故は何回目
			事故の型	傷害の部位、又は損害の程度 (参考:傷害程度 事故報告時点)					
25	賠償事故	草刈機除草	飛散損	自走式草刈機から飛び跳ねた小石による軽自動車リアガラスの破損	自走式草刈機で草刈作業をしていた。	発注者宅地内	作業開始当初は、車庫のシャッターは閉まっていたので、作業をしていた。途中で家人が買物のためにシャッターを開けて、そのままであったことに気付かず、また、小石が想定外の方向に飛び、車庫内の軽自動車のリアガラスを破損した。作業開始時にシャッターが閉まっていることは、確認していたが、途中で開けられたことに気付かなかった。	作業開始時の安全確認は、当然であるが、作業中においても、常に状況に変わりがないか注意したい。予想外のことも起こるので、常に周囲の状況把握が必要であると感じた。	1

整理番号	傷害事故又は賠償事故	仕事種別	どんな事故		なにを、どうしていた時	どんなところで(場所、現場の環境)	事故要因と、どこに問題があったか	この体験で、反省・改善・気を付けるようになったこと、その他、感じたこと	この事故は何回目
			事故の型	傷害の部位、又は損害の程度 (参考:傷害程度 事故報告時点)					
26	賠償事故	草刈機除草	器具・用具接触損	草や排水管に隠れた給水管を草刈機で傷つけた。	隣家との境の草を刈っていた時	隣家は、作業場より一段高く、境界は石垣(コンクリート製)で、その石垣に排水管と給水管が取り付けられ、破損箇所は石垣の最下部(作業場地面すれすれ)で、排水管と草とに隠れていた。	見えにくい場所に給水管があったにもかかわらず、草を手で取り除くなどの安全確認を怠った。	目で確認できない所は、配管や空き缶、ガラスなど草刈機作業を継続すると危険が伴うことを肝に銘じる。自分だけでなく、他の会員にも今回の事故内容を正確に迅速に共有し、お客様をはじめ、関係者に心配をかけることのないようにする。	1

整理番号	傷害事故又は賠償事故	仕事種別	どんな事故		なにを、どうしていた時	どんなところで(場所、現場の環境)	事故要因と、どこに問題があったか	この体験で、反省・改善・気を付けるようになったこと、その他、感じたこと	この事故は何回目
			事故の型	傷害の部位、又は損害の程度 (参考: 傷害程度 事故報告時点)					
27	賠償事故	草刈機除草	器具・用具接触損壊	刈払機にて畑の草刈作業中、西側に隣接しているマンションのアルミフェンスを傷つけた。	刈払機作業中に、障害となる有刺鉄線をフェンス側に移動したことによりアルミ板7枚を損傷した。	家の敷地内	予想外であった。	安全就業に気を付ける。	2
28		剪定		三脚を車から置き場へ戻す途中で、車に接触	三脚を移動中	駐車場	三脚を移動する時に、もう少しゆっくりしたらよかった。	今後は、油断しないように安全を意識して行います。基本を忠実に行います。	1

事故を起こしたときの状態



〈 特徴と傾向 〉

事故体験事例報告のあった28件を作業別に見ると、就業中13件のうち「剪定」が5件、「手刈除草等」が1件、「屋内作業」が5件、「屋外作業」1件、「施設管理」1件となっており、主な事故は転落・転倒です。一方、就業途上3件は、交通事故によるものが2件、転倒が1件となっています。また、賠償事故は12件発生しており、ほとんどが草刈機による飛散損壊です。

作業中に事故を起こしたときの、心の状態を集計したのが上のグラフです。

最も多いのが「大丈夫と思った」「油断していた」、次に「気が付かなかった」「予想外であった」と続いています。全体を総括的に見ると、「剪定」作業に使用する脚立等の安全な取扱いが欠けていたり、賠償事故では草刈機の危険性を十分熟知せずに、慣れ・マンネリ化により事故が発生していることがうかがえます。(複数回答もあるため、報告件数とは一致しません)